

[平成28年度設置]

注1

国立大学法人 名古屋大学
平成29年5月1日現在

電話番号 052-789-5466

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人名古屋大学

【連携外国大学の設置者】オーストラリア連邦南オーストラリア州

(2) 大学名

名古屋大学大学院

【連携外国大学の名称】

THE UNIVERSITY OF ADELAIDE (THE UNIVERSITY OF ADELAIDE)

(注)・連携外国大学が置かれている国で用いられている言語による名称を()書きで記入してください。

(3) 大学の位置

〒466-8550

愛知県名古屋市鶴舞町65番地(〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町)

【連携外国大学の本部の位置】

Adelaide, South Australia 5005 Australia

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(クニエダ ヒデオ) 國枝秀世 (平成25年4月)	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)	変更理由：理事任期満了のため 変更年月日：平成29年4月1日(29)
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)		
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)		
理事	(イチハシ カツヤ) 市橋克哉 (平成27年4月)	(ザイマ シンゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	変更理由：理事任期満了のため 変更年月日：平成29年4月1日(29)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(タケシタ ノリユキ) 竹下典行 (平成24年8月)	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成29年1月13日(29)

	(ゴウ ミチコ)		
理事	郷 通子		
	(平成 27 年 4 月)		
研究科長	(タカハシ マサヒデ)	(カドマツ ケンジ)	変更理由：研究科長辞任のため
	高橋 雅英	門松 健治	変更年月日：平成 29 年 4 月 1 日 (29)
	(平成 24 年 4 月)	(平成 29 年 4 月)	
副研究科長	(フジモト トヨシ)	(キムラ ヒロシ)	変更理由：副研究科長辞任のため
	藤本 豊士	木村 宏	変更年月日：平成 29 年 4 月 1 日 (29)
	(平成 19 年 4 月)	(平成 29 年 4 月)	
副研究科長	(オオノ キンジ)		
	大野 欽司		
	(平成 21 年 4 月)		
副研究科長	(ワカバヤシ トシヒコ)	(アリマ ヒロシ)	変更理由：副研究科長辞任のため
	若林 俊彦	有馬 寛	変更年月日：平成 29 年 4 月 1 日 (29)
	(平成 21 年 4 月)	(平成 29 年 4 月)	
副研究科長	(カドマツ ケンジ)	(キヤマ ヒロシ)	変更理由：副研究科長辞任のため
	門松 健治	木山 博資	変更年月日：平成 29 年 4 月 1 日 (29)
	(平成 24 年 4 月)	(平成 29 年 4 月)	
副研究科長	(ハセガワ ヨシノリ)	(カツノ マサオ)	変更理由：副研究科長辞任のため
	長谷川 好規	勝野 雅央	変更年月日：平成 29 年 4 月 1 日 (29)
	(平成 24 年 4 月)	(平成 29 年 4 月)	
副研究科長	(キツカワ フミタカ)		
	吉川 史隆		
	(平成 24 年 4 月)		
	(コジマ テツヒト)		
	小嶋 哲人		
	(平成 27 年 4 月)		

(例) 平成 26 年度に報告済の内容 (26)

平成 29 年度に報告する内容 (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	修業年限 年	設置時の計画		収容定員 人	備考 基礎となる学部等
			入学定員 人	入学定員 人		
医学系研究科 名古屋大学・アデレード 大学国際連携総合医学専 攻(医学博士課程) 博士(医学)	医学関係	4	4	<161>	16	医学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「_ 祐 目 鷗 口 顛 肅 蘭 丰 衫 冥, 木 迫 姿 イ 玳 考 お 同 猿 董 章 遼 奮 慇 愨 警」詫 麼 蠡 蜻 E E 瞿 亞 亞 亞 氏 竿 劫 悦 鮎 似 曾

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学				
A 入学定員	人 4 (-) [-]	人 1 (-) [-]	人 4 (-) [-]	人 3 (-) [-]	人 0 (-) [-]	人 () () [-]	人 () () [-]	人 () () [-]	人 () () [-]		0.33 0.25倍	
志願者数	- (-) [-]	1 (-) [-]	4 (-) [-]	3 (-) [-]	0 (-) [-]	() () [-]	() () [-]	() () [-]	() () [-]			
受験者数	- (-) [-]	1 (-) [-]	4 (-) [-]	3 (-) [-]	0 (-) [-]	() () [-]	() () [-]	() () [-]	() () [-]			
合格者数	- (-) [-]	1 (-) [-]	3 (-) [-]	2 (-) [-]	0 (-) [-]	() () [-]	() () [-]	() () [-]	() () [-]			
B 入学者数	- (-) [-]	1 (-) [-]	1 (-) [-]	2 (-) [-]	0 (-) [-]	() () [-]	() () [-]	() () [-]	() () [-]			
入学定員超過率 B / A	0.25		0.75 0.25		0.00							

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 様式は、平成29年4月開設の場合の様式です。「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
 - (例)「春季入学」「4月入学」、「10月入学」等
 - ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

報告年度

学 年	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学
	-	1	1	2	0	2		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
			0	1	1	1		
			[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]
			(-)	(-)	(-)	(-)	()	()
					0	0		
					[-]	[-]	[]	[]
					(-)	(-)	()	()

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分

対象年度

-

-

生物化学

名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学

履修希望者なしのため未開講 (28) (29)
履修希望者なしのため未開講 (28) (29)
昇格による変更 (28)
履修希望者なしのため未開講 (28) (29)
昇格による変更 (28)
履修希望者なしのため未開講 (28) (29)

微生物・免疫学

名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学

履修希望者なしのため未開講 (28) (29)
履修希望者なしのため未開講 (28) (29)
教育内容の充実のため教員の変更 (28)

先端応用医学

名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学

履修希望者なしのため未開講 (28) (29)
履修希望者なしのため未開講 (28) (29)
教育内容の充実のため教員の変更 (28)
履修希望者なしのため未開講 (28) (29)
履修希望者なしのため未開講 (28) (29)
履修希望者なしのため未開講 (28) (29)

実験動物科学

名古屋大学
名古屋大学

履修希望者なしのため未開講 (28) (29)
履修希望者なしのため未開講 (28) (29)

細胞質小体量但玲開講9之秋

朴雅 額ば学

名古屋大学

(29)

名古屋大学

履修希望者なしのため未開講 (28) (29)
履修希望者なしのため未開講 (28) (29)

毛髪 抗痺

機能形態学

名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学

名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学

名古屋大履修希望者なしのため未開講(28)

履修希望者なしのため未開講(28)(29)

履修希望者なしのため未開講(28)(29)

履修希望者なしのため未開講(28)(29)

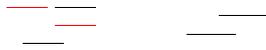
履修希望者なしのため未開講(28)(29)

履修希望者なしのため未開講(28)(29)

履修希望者なしのため未開講(28)(29)

履修希望者なしのため未開講(28)(29)

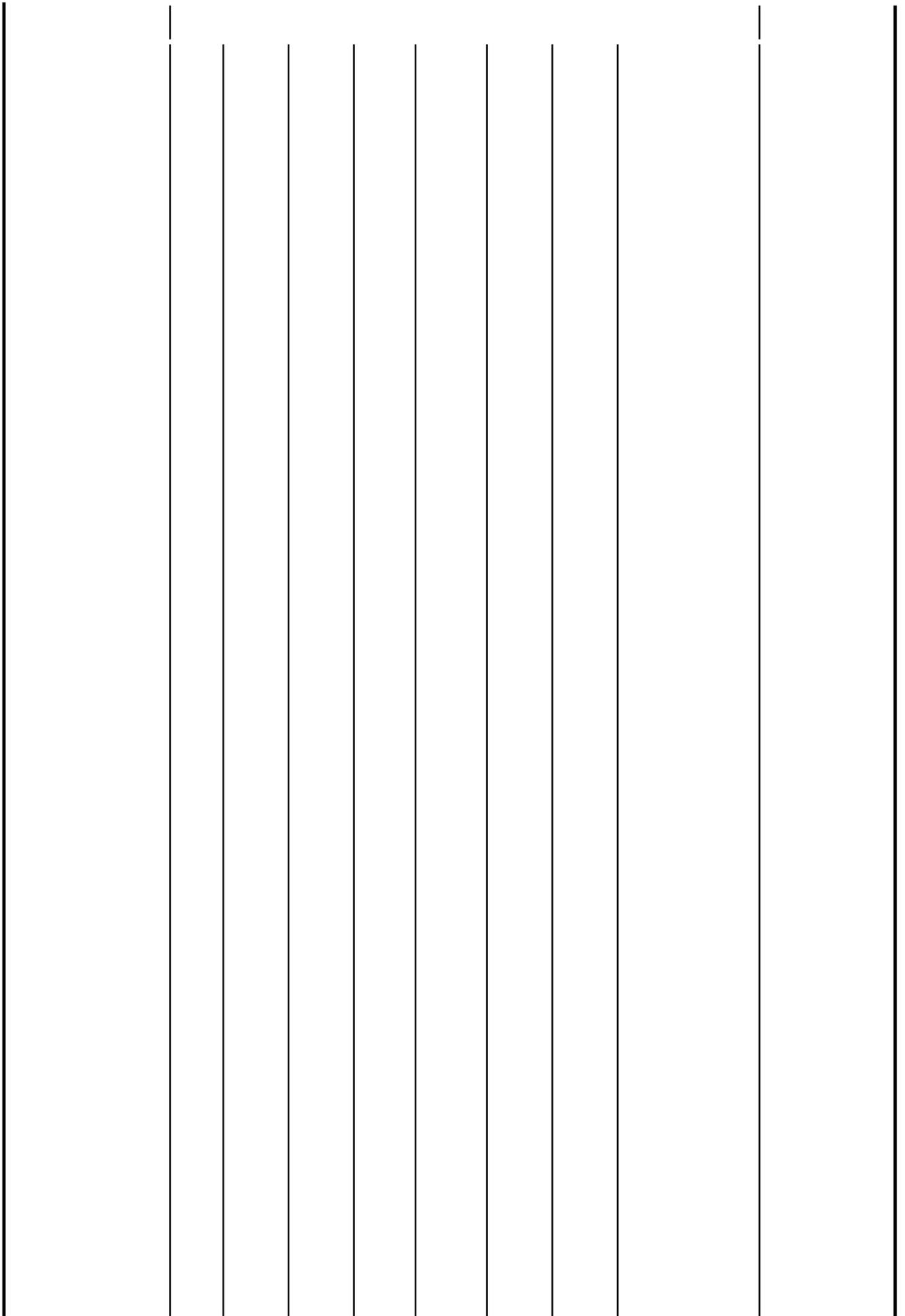
☒



(6) 函 書 館

(8)

4 既設大学等の状況



大学の名称	名古屋大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
生命分子工学専攻 (博士前期課程)	2	28		28	修士(工学)	1.07	平成29年度	
(博士後期課程)	3	6		6	博士(工学)	1.16		
応用物理学専攻 (博士前期課程)	2	39		39	修士(工学)	0.97	平成29年度	
(博士後期課程)	3	9		9	博士(工学)	0.22		
物質科学専攻 (博士前期課程)	2	39		39	修士(工学)	0.94	平成29年度	
(博士後期課程)	3	9		9	博士(工学)	0.33		
材料デザイン工学専攻 (博士前期課程)	2	34		34	修士(工学)	1.08	平成29年度	
(博士後期課程)	3	8		8	博士(工学)	0.00		
物質プロセス工学専攻 (博士前期課程)	2	35		35	修士(工学)	1.28	平成29年度	
(博士後期課程)	3	9		9	博士(工学)	0.33		
化学システム工学専攻 (博士前期課程)	2	34		34	修士(工学)	1.14	平成29年度	
(博士後期課程)	3	8		8	博士(工学)	0.12		
電気工学専攻 (博士前期課程)	2	34		34	修士(工学)	0.97	平成29年度	
(博士後期課程)	3	9		9	博士(工学)	0.44		
電子工学専攻 (博士前期課程)	2	47		47	修士(工学)	1.19	平成29年度	
(博士後期課程)	3	13		13	博士(工学)	0.38		

大学の名称	名古屋大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
情報・通信工学専攻 (博士前期課程)	2	33		33	修士(工学)	1.33	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8		8	博士(工学)	0.62			
機械システム工学専攻 (博士前期課程)	2	66		66	修士(工学)	0.78	平成29年度		
(博士後期課程)	3	14		14	博士(工学)	0.35			
マイクロ・ナノ機械理工学専攻 (博士前期課程)	2	36		36	修士(工学)	1.19	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8		8	博士(工学)	0.75			
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2	38		38	修士(工学)	1.15	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8		8	博士(工学)	0.62			
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2	18		18	修士(工学)	1.33	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5		5	博士(工学)	0.60			
総合エネルギー専攻 (博士前期課程)	2	18		18	修士(工学)	1.11	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4		4	博士(工学)	1.25			
土木工学専攻 (博士前期課程)	2	36		36	修士(工学)	0.88	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9		9	博士(工学)	0.22			
生命農学研究科 生物圏資源学専攻 (博士前期課程)	2	35		70	修士(農学)	1.12	昭和30年度 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町	
(博士後期課程)	3	10		30	博士(農学)	0.86			

大学 の 名 称											備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 年	学 員 人	編入学 定 員 年次 人	収 定 人	容 員 人	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 度	設 度	所 在 地
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程)	2		37		74		修士(農学)	1.14		平成9年度	
(博士後期課程)	3		11		33		博士(農学)	0.54			
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程)	2		39		78		修士(農学)	1.21		平成10年度	
(博士後期課程)	3	蓮	11		36		博士(農学)	0.44			
生命技術科学専攻 (博士前期課程)	2		28		56					平成16年度	

大学の名称

備考

大学の名称	名古屋大学								備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員	編入学 員	収 定	容 員	学位又 は称号	平均入 学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人			倍			
情報科学研究科 計算機数理学専攻 (博士前期課程)	2					修士(情報科学) 修士(工学) 修士(学術)		平成15年度 平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町	平成29年より学生募集停止
(博士後期課程)	3					博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2					修士(情報科学) 修士(工学) 修士(学術)		平成15年度		
(博士後期課程)	3					博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2					修士(情報科学) 修士(工学) 修士(学術)		平成15年度		
(博士後期課程)	3					博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2					修士(情報科学) 修士(工学) 修士(学術)		平成15年度		
(博士後期課程)	3					博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)				
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2					修士(情報科学) 修士(工学) 修士(学術)		平成15年度		
(博士後期課程)	3					博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)				

専 教授 研究

専 教授 高橋 隆 平成27年10月 分子腫瘍学セミナー
分子腫瘍学実験研究
(研究指導)

専 教授 山中 章弘 平成27年10月 神経性調節学セミナー
神経性調節学実験研究
(研究指導)

専 教授 神谷 香一郎 平成27年10月 心・血管学セミナー
心・血管学実験研究
(研究指導)

専 教授 荻 朋男 平成27年10月 発生・遺伝学セミナー
発生・遺伝学実験研究
(研究指導)

専 教授 山中 宏二 平成27年10月 病態神経科学セミナー
病態神経科学実験研究
(研究指導)

急 査 予 備 先 進 講 義

専	教授	木山 博資	平成27年10月	分子病理学実験 (研究指導)	教授
専	教授	豊國 伸哉	平成27年10月	生体反応病理学 セミナー 生体反応病理学 実験研究 (研究指導)	
専	教授	高橋 雅英	平成27年10月	分子病理学セミ ナー 分子病理学実験 研究 (研究指導)	
専	教授	石井 晃	平成27年10月	法医・生命倫理 学セミナー 法医・生命倫理 学実験研究 (研究指導)	
専	教授	加藤 昌志	平成27年10月	環境労働衛生学 セミナー 環境労働衛生学 実験研究 (研究指導)	
専	教授	若井 建志	平成27年10月	予防医学セミ ナー 予防医学実験研 究 (研究指導)	
専	教授	青山 温子	平成27年10月	国際保健医療 学・公衆衛生学 セミナー 国際保健医療 学・公衆衛生学 実験研究 (研究指導)	
専	教授	濱嶋 信之	平成27年10月	医療行政学セミ ナー 医療行政学実験 研究 (研究指導)	
専	教授	石黒 洋	平成27年10月	健康栄養医学セ ミナー 健康栄養医学実 験研究 (研究指導)	
専	教授	押田 芳治	平成27年10月	健康スポーツ医 学セミナー 健康スポーツ医 学実験研究 (研究指導)	
専	教授	小川 豊昭	平成27年10月	精神病理学セミ ナー 精神病理学実験 研究 (研究指導)	
専	教授	石田 浩司	平成27年10月	健康運動科学セ ミナー 健康運動科学実 験研究 (研究指導)	
専	教授	清井 仁	平成27年10月	血液・腫瘍内科 学セミナー 血液・腫瘍内科 学実験研究 (研究指導)	

臓器病態診断学

専	教授	中村 栄男	平成27年10月	臓器病態診断学 セミナー 臓器病態診断学 実験研究 (研究指導)
専	教授	尾崎 紀夫	平成27年10月	精神医学セミ ナー 精神医学実験研 究 (研究指導)
専	教授	若林 俊彦	平成27年10月	脳神経外科学セ ミナー 脳神経外科学実 験研究 (研究指導)
専	教授	寺崎 浩子	平成27年10月	眼科学セミナー 眼科学実験研究 (研究指導)
専	教授	柳野 正人	平成27年10月	腫瘍外科学セミ ナー 腫瘍外科学実験 研究 (研究指導)
専	教授	古森 公浩	平成27年10月	血管外科学セミ ナー 血管外科学実験 研究 (研究指導)
専	教授	小寺 泰弘	平成27年10月	消化器外科学セ ミナー 消化器外科学実 験研究 (研究指導)
専	教授	碓氷 章彦	平成27年10月	心臓外科学セミ ナー 心臓外科学実験 研究 (研究指導)
専	教授	横井 香平	平成27年10月	呼吸器外科学セ ミナー 呼吸器外科学実 験研究 (研究指導)
専	教授	内田 広夫	平成27年10月	小児外科学セミ ナー 小児外科学実験 研究 (研究指導)
専	教授	後藤 百万	平成27年10月	泌尿器科学セミ ナー 泌尿器科学実験 研究 (研究指導)

専	教授	石黒 直樹	平成27年10月	整形外科学セミナー 整形外科学実験研究 (研究指導)							
専	教授	平田 仁	平成27年10月	手の外科学セミナー 手の外科学実験研究 (研究指導)							
専	教授	秋山 真志	平成27年10月	皮膚病態学セミナー 皮膚病態学実験研究 (研究指導)							
専	教授	亀井 讓	平成27年10月	形成外科学セミナー 形成外科学実験研究 (研究指導)							
専	教授	西脇 公俊	平成27年10月	麻酔・蘇生医学セミナー 麻酔・蘇生医学実験研究 (研究指導)							
専	教授	松田 直之	平成27年10月	救急・集中治療医学セミナー 救急・集中治療医学実験研究 (研究指導)							
専	教授	八木 哲也	平成27年10月	感染症学セミナー 感染症学実験研究 (研究指導)							
専	教授	松下 正	平成27年10月	輸血学セミナー 輸血学実験研究 (研究指導)							
専	教授	小島 勢二	平成27年10月	小児科学セミナー 小児科学実験研究 (研究指導)	専	教授	高橋 義行	平成28年10月	小児科学セミナー 小児科学実験研究 (研究指導)	平成28年10月 高橋義行教授採用に伴う担当者の変更(29) 平成28年3月 小島勢二教授退職(28) 「小児科学セミナー」「小児科学実験研究」は吉川史隆教授が担当	
専	教授	葛谷 雅文	平成27年10月	老年医学セミナー 老年医学実験研究 地域在宅医療セミナー 地域在宅医療実験研究 (研究指導)	専	教授	葛谷 雅文	平成27年10月	総合診療医学セミナー 総合診療医学実験研究 老年医学セミナー 老年医学実験研究 地域在宅医療セミナー 地域在宅医療実験研究 (研究指導)	平成29年3月 伴信太郎教授退職のため担当科目の変更(29)	
専	教授	吉川 史隆	平成27年10月	産婦人科学セミナー 産婦人科学実験研究 (研究指導)	専	教授	吉川 史隆	平成27年10月	小児科学セミナー 小児科学実験研究 産婦人科学セミナー 産婦人科学実験研究 (研究指導)	平成28年10月 高橋義行教授採用に伴う担当科目の変更(29) 平成28年3月 小島勢二教授退職のため担当者の変更(28)	
専	教授	伴 信太郎	平成27年10月	総合診療医学セミナー 総合診療医学実験研究 (研究指導)			後任未定			平成29年3月 伴信太郎教授退職(29) 「総合診療医学セミナー」「総合診療医学実験研究」は葛谷雅文教授が担当	
専	教授	植村 和正	平成27年10月	総合医学教育学セミナー 総合医学教育学実験研究 (研究指導)	専	准教授	藤原 道隆	平成29年6月	総合医学教育学セミナー 総合医学教育学実験研究 (研究指導)	平成29年3月 植村和正教授退職のため担当者の変更(29)	
専	教授	長尾 能雅	平成27年10月	医療安全管理学セミナー 医療安全管理学実験研究 (研究指導)							

					教授	西川 博嘉	平成28年4月	分子細胞免疫学セミナー 分子細胞免疫学実験研究 (研究指導)		
専	准教授	大野 民生	平成27年10月	実験動物科学セミナー 実験動物科学実験研究 (研究指導)						
専	准教授	島村 徹平	平成27年10月	システム生物学セミナー システム生物学実験研究 (研究指導)						
専	准教授	千賀 威	平成27年10月	腫瘍生物学セミナー 腫瘍生物学実験研究 (研究指導)	専	教授	近藤 豊	平成29年4月	腫瘍生物学セミナー 腫瘍生物学実験研究 (研究指導)	平成29年3月 千賀威准教授退職のため担当者の変更(29)
専	准教授	遠藤 利明	平成27年10月	視覚神経科学セミナー 視覚神経科学実験研究 (研究指導)	専	教授	竹本 さやか	平成27年12月	視覚神経科学セミナー 視覚神経科学実験研究 (研究指導)	平成27年11月 遠藤利明准教授退職のため担当者の変更(28)
専	准教授	水野 哲也	平成27年10月	神経免疫学セミナー 神経免疫学実験研究 (研究指導)	専	教授	菅波 孝祥	平成27年10月	神経免疫学セミナー 神経免疫学実験研究 (研究指導)	平成27年9月 水野哲也准教授退職のため担当者の変更(28)

専	准教授	櫻本 篤	平成27年10月	腫瘍病理学セミナー 腫瘍病理学実験研究 (研究指導)						
専	准教授	山本 敏充	平成27年10月	人類遺伝学セミナー 人類遺伝学実験研究 (研究指導)						
専	准教授	有馬 寛	平成27年10月	糖尿病・内分泌内科学セミナー 糖尿病・内分泌内科学実験研究 (研究指導)	専	教授	有馬 寛	平成27年10月	糖尿病・内分泌内科学セミナー 糖尿病・内分泌内科学実験研究 (研究指導)	平成27年8月 准教授から教授へ昇格(28)
専	准教授	丸山 彰一	平成27年10月	腎臓内科学セミナー 腎臓内科学実験研究 (研究指導)	専	教授	丸山 彰一	平成27年10月	腎臓内科学セミナー 腎臓内科学実験研究 (研究指導)	平成28年4月 准教授から教授へ昇格(28)
専	准教授	勝野 雅央	平成27年10月	神経内科学セミナー 神経内科学実験研究 (研究指導)	専	教授	勝野 雅央	平成27年10月	神経内科学セミナー 神経内科学実験研究 (研究指導)	平成27年7月 准教授から教授へ昇格(28)
専	准教授	曾根 三千彦	平成27年10月	耳鼻咽喉科学セミナー 耳鼻咽喉科学実験研究 (研究指導)	専	教授	曾根 三千彦	平成27年10月	耳鼻咽喉科学セミナー 耳鼻咽喉科学実験研究 (研究指導)	平成28年2月 准教授から教授へ昇格(28)
専	准教授	日比 英晴	平成27年10月	顎顔面外科学セミナー 顎顔面外科学実験研究 (研究指導)	専	教授	日比 英晴	平成27年10月	顎顔面外科学セミナー 顎顔面外科学実験研究 (研究指導)	平成27年8月 准教授から教授へ昇格(28)
専	准教授	廣岡 芳樹	平成27年10月	内視鏡診断学セミナー 内視鏡診断学実験研究 (研究指導)						
専	准教授	柴田 清住	平成27年10月	生殖器腫瘍制御学セミナー 生殖器腫瘍制御学実験研究 (研究指導)	専	准教授	梶山 広明	平成29年4月	生殖器腫瘍制御学セミナー 生殖器腫瘍制御学実験研究 (研究指導)	平成29年3月 柴田清住准教授退職のため担当者の 変更(29)
専	講師	菊森 豊根	平成27年10月	移植・内分泌外科学セミナー 移植・内分泌外科学実験研究 (研究指導)						

所属している場合は、研究科 専攻(課程)の箇所を「共通」とし、深 9 西謝俛 銜 銚唐 見 錶 苡 良 ッ ぶ 卒 卒 尼 登 尼 虬 猿 能 聯 付 見 馳 圭 さい。

所属してw年辞 をい 飛 陶 晶 侏 驢 孛 毳 詵 訖 邀 罪 嬰

を記入してください。

・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、

専任等区分	氏名	担当授業科目名	専任等区分	職名	氏名	担当授業科目名	備考
外国	Andrew Zannettino	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)					
外国	Peng Bi	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	外国	教授相当	John Lynch	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	

外国	教授相当	Annette Braunack-Mayer	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	外国	教授相当	Maria Makrides	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容見直しによる教員変更(28)
外国	教授相当	Bill (William) Breed	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	外国	教授相当	Gary Wittert	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容見直しによる教員変更(28)
外国	教授相当	Grant Buchanan	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 国際連携最先端医学特論 (研究指導)	外国	教授相当	Deborah White	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 国際連携最先端医学特論 (研究指導)	教育内容見直しによる教員変更(28)
外国	教授相当	Michael Davies	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 国際連携最先端医学特論 (研究指導)	外国	教授相当	Jozef Gecz	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 国際連携最先端医学特論 (研究指導)	教育内容見直しによる教員変更(28)
外国	教授相当	Maciej Henneberg	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	外国	教授相当	Michael Horowitz	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容見直しによる教員変更(28)
外国	教授相当	Jon Karnon	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	外国	教授相当	Mark Hutchinson	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容見直しによる教員変更(28)
外国	教授相当	Vivienne Moore	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	外国	教授相当	Stan Gronthos	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容見直しによる教員変更(28)
外国	教授相当	Maree O'Keefe	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	外国	教授相当	Sarah Robertson	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容見直しによる教員変更(28)
外国	教授相当	Andrew Somogyi	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	外国	教授相当	Paul Reynolds	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容見直しによる教員変更(28)
				外国	教授相当	Mark Bartold	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (28)
				外国	教授相当	Alison Kitson	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (28)
				外国	教授相当	Peter Wormald	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (28)
				外国	教授相当	Wayne Tilley	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (28)
				外国	教授相当	Karen Jones	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (28)
				外国	教授相当	Bernhard Baune	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (28)
				外国	教授相当	David Findlay	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (28)
				外国	教授相当	Robert McLaughlin	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (28)
				外国	教授相当	Ray Rodgers	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (28)
				外国	教授相当	Claire Roberts	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (28)
				外国	教授相当	Alastair Burt	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (29)

				外国	教授 相当	Maciej Henneberg	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (29)
				外国	教授 相当	Vivienne Moore	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (29)
外国	准教授 相当	Rachel Gibson	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	外国	准教 授 相当	Daryl Russel	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容見直しによる教員変更(28)
外国	准教授 相当	Mario Ricci	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	外国	准教 授 相当	Simon Barry	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容見直しによる教員変更(28)
				外国	准教 授 相当	Lisa Butler	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (28)
				外国	准教 授 相当	Caroline Laurence	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (29)
				外国	准教 授 相当	Gillian Harvey	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (29)
				外国	准教 授 相当	Craig Lockwood	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (29)
				外国	准教 授 相当	Lisa Smithers	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (29)
				外国	講師 相当	Catherine Chittleborough	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (29)
				外国	講師 相当	Dan Worthley	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (29)
				外国	講師 相当	Lyndsey Collins- Praino	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (29)
				外国	講師 相当	Renee Turner	基礎医学国際セミナー 基礎医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (29)
外国	教授 相当	Guy Maddern	臨床医学国際セミナー 臨床医学国際実験研究 (研究指導)					
外国	教授 相当	Randall Faull	臨床医学国際セミナー 臨床医学国際実験研究 (研究指導)	外国	教授 相当	Renuka Visvanathan	臨床医学国際セミナー 臨床医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容見直しによる教員変更(28)
外国	教授 相当	Cherrie Galletly	臨床医学国際セミナー 臨床医学国際実験研究 (研究指導)	外国	教授 相当	Timothy Hughes	臨床医学国際セミナー 臨床医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容見直しによる教員変更(28)
外国	教授 相当	Julie Owens	臨床医学国際セミナー 臨床医学国際実験研究 (研究指導)	外国	教授 相当	Jennifer Couper	臨床医学国際セミナー 臨床医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容見直しによる教員変更(28)
外国	教授 相当	Paul Reynolds	臨床医学国際セミナー 臨床医学国際実験研究 (研究指導)	外国	教授 相当	Andrew Somogyi	臨床医学国際セミナー 臨床医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容見直しによる教員変更(28)
				外国	教授 相当	Prashanathan Sanders	臨床医学国際セミナー 臨床医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (28)
				外国	教授 相当	Steve Nicholls	臨床医学国際セミナー 臨床医学国際実験研究 (研究指導)	教育内容充実のため担当教員追加 (28)

(2) 専任教員数等

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(2) - 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における
設置基準上の必要研
究指導教員数

完成年度時における
設置基準上の必要研
究指導教員数

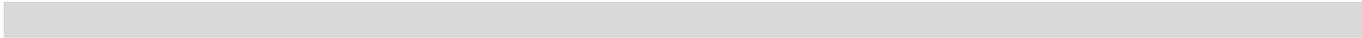
(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第七十五号）により

教 授

計
(B)

81

[0]



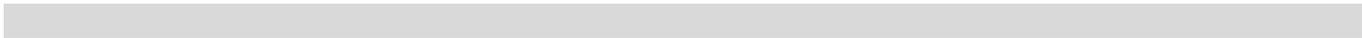
科目	科目	科目

6 准教授 千碍机 選択 腫瘍生物学実験研究 平成29年3月退職のため辞任(29)



科目	科目	科目

上記(3) - ・ (3) - の合計



科目	科目	科目

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生身躰笈艶味詎 〃 罽蓑 蓑雲竜音 涌 嘉机 科目

区 分

履 行 状 況

未履行事項について
の実施計画

設 置 時
(27年6月)

1. 養成する人材像が一般的・包括的な記述となっており、このことからディプロマポリシーも明確ではない。国際連携教育課程制度の趣旨は、我が国の大学と外国の大学が、双方の強みを活かし、また、補完しあいながらより充実した教育研究を行うことであることを踏まえ設置計画の履行に当たっては以下について留意すること。

留意事項

(1) 社会一般や入学を希望する学生に対して、国際連携教育課程制度を通じて養成される人材がどのような専門分野で活躍するかなどを具体的に示すこと。特に、ディプロマポリシーにある「国際的共同研究を推進」について具体的に明示すること。

(1) 医学分野において従来からの個別化医療とともに、Genome解析手法を加え、より診断技術の精度を上げたprecision medicine(精密医療)を推進するため、本学における神経がん融合研究、アデレード大学における臨床と結びついたトランスレーショナルリサーチといった両大学の特色を相互補完的に取り入れたカリキュラムに基づく国際連携教育課程制度を通じて養成される人材は、医学分野、特に基礎医学研究と観察的・介入的臨床研究を融合したトランスレーショナルリサーチにおいて国際的に活躍する人材であり、ディプロマ・ポリシーに以下(参考1)のとおり追記して示すこととした。

また、養成される人材の例として、日本とオーストラリアの精神医学的疾患の特徴と研究体制を十分に把握し、この2国を含む複数国を巻き込んだ国際共同治験をリードする臨床医学研究者、がん研究領域で研究者間の国際的関係を構築し、各国のがん研究の連携を図り、全体として世界のがん研究をリードする基礎医学研究者、日本で高齢化社会に対する各種先駆的な取組に触れ、医学的見地から必要とされる技術について理解し、日本とオーストラリ

アを含む世界各国で医学応用分野で指導的立場となる産業界リーダー、をホームページに掲載して社会一般や入学希望者に示すとともに、入学時全体ガイダンスにおいて入学者にも提示した。

さらに、ディプロマ・ポリシーに掲げる各項目については、論文審査以外にも学生から年次レポートを提出させ、指導教員と合同運営委員会によって評価・確認を行い、ディプロマ・ポリシーに沿った学位審査・学位授与が行われるようにした。

(参考1)

ディプロマ・ポリシー

「豊かな人間性，高い倫理性，科学的論理性を備え，創造力に富み，多様な学問的素養を身に付け，医学分野，特にトランスレーショナルリサーチにおける国際的共同研究を推進し，医学と人類の福祉の発展に著しく貢献できる人材」を養成する。

(28)

(2) 養成する人材像やディプロマポリシーを明確化するには、アドミッションポリシーとして、どのような人材を求めているかをより具体的に示し、2つのポリシーの対応関係についても留意すること。その際、「国際的に活躍する強い意欲」の解釈に幅が出ないように、入学者選抜における判断基準を定め

独創力を備え、新たな分野を開拓する気概を持つ。
異分野連携によるイノベーションの創出を行う資質を持つ。
(28)

(3)カリキュラムポリシーについても、上記を踏まえつつ、対応関係に齟齬が生じないように留意すること。

(3)カリキュラム・ポリシーについて、ディプロマ・ポリシー及びアドミッション・ポリシーへの対応を踏まえ、トランスレーショナルリサーチについて、以下(参考3)のとおり追記して示すこととした。

このカリキュラム・ポリシーに沿って、トランスレーショナルリサーチの知識・技術・倫理に加え、国際的研究組織構築のための戦略・手法・実例など幅広い知識を教授する講義を設けるなど、国際的視野と国際的競争力を有する医学研究者の養成を目標としたカリキュラムを作成した。

(参考3)

カリキュラム・ポリシー
「世界トップ大学同士の相互補完的協同教育により、高い倫理性、科学的論理性を修得させ、幅広い学問的素養を身に付けさせ、医学分野、特にトランスレーショナルリサーチにおける倫理と国際的共同研究の組織構築の戦略手法を学ばせること」

(28)

2. 年間の研究指導計画や成績評価基準が不明確であるため、学生が十分に理解できるよう、あらかじめ十分な説明を行うこと。

年間の学修計画書作成にあたっては、学生が既に身につけている知識、スキルや具体的な研究分野等に応じて、各指導教員から学生に対して履修モデル等を示しつつきめ細かな指導を行っている。また、成績評価基準についてはシラバスに記載するとともに、各指導教員が学生に対して個別に説明することとした。(28)

3. 連携外国大学の教員組織について、本専攻の教育研究の目的を十分に果たし得る体制となっていることについて、社会一般や入学を希望する学生に対して、あらかじめ明示すること。

名古屋大学とアデレード大学で、基礎医学領域と臨床医学領域から幅広い専門分野を設定し、その医学研究領域をカバーする専任教員を有する教員組織についてシラバスとともに配付した。また、国際連携専攻入学時全体ガイダンスの中で、入学者に対して詳細に説明した。(28)

平成28年10月、連携外国大学の教員組織をホームページに掲載した。(29)

左記にあわせて、平成28年10月末までに連携外国大学の教員組織をホームページに掲載した。

設 置 時

留意事項

(同一設置者が設置する医学系研究科名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻)

設置時
(28年11月)

国際連携専攻については、両大学の入学資格を満たす必要があることから、既設の専攻と比べて要件が厳格となり敬遠されることが想定される。

本専攻の継続的な運営に支障が生じないように、入学希望者のニーズを踏まえつつ、学生確保に最善を尽くすこと。

留意事項

本専攻への応募に関心を示した学生に対して、応募前に面談し、本専攻の概要、入学資格、履修科目、修了要件などを説明することにより、本専攻への理解を促した。

連携外国大学における研究室の確保に則し、

記入してください。

- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

< 医学系研究科 名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 >

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画

変更内容・状況、今後の見通しなど

開催日：平成27年10月16日

場 所：名古屋大学医学部附属病院

参加者：

【アデレード大学側】Alastair Burt学部長，Renuka
Visvanathan教授，Lyndsey Collins-Praino講師，Renee
Turner講師，Christiane Niess課長

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期 : 無

b 教員や学生への公開状況, 方法等

(注)・「 a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。

「 実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設定したアドミッションポリシーに沿って両大学共同で入学者を選考し, 平成29年4月現在, 名古屋大学側を主大学とする学生2名とアデレード大学を主大学とする学生2名が入学している。また, 平成29年10月に向けて名古屋大学を主大学とする学生2名が入学を出願している。

今後は, カリキュラムポリシーに沿って入学者を教育し, 「豊かな人間性, 高い倫理性, 科学的論理性を備え, 創造力に富み, 多様な学問的素養を身に着け, 医学分野, 特にトランスレーショナルリサーチにおける国際的共同研究を推進し, 医学と人類の福祉の発展に著しく貢献できる人材」を育成する。

本専攻の詳細を紹介するホームページを作成するなど広報活動を通じて学生のリクルートを積極的に行っている。